

## Q&A LL100-BCHS

Q 本製品以外に準備する機器や消耗品は？

A ルミノメーター、測定用チューブ（測定用プレート）、マイクロピペッター、ATP抽出試薬（LL100-2または自家調整液）、滅菌水（ATPフリー水）など。 必要に応じてATP除去試薬（LL100-3）

Q 検量線は測定日毎にとる必要がありますか？

A 測定データを比較検証するために、日差の有無やその度合いの指標となるよう、ATP標準液で既知濃度に対する発光量を確認しておいてください。

Q 測定したい菌種に制限はありますか？

A 菌種に制限はありませんが、ウイルスはATPを持っていないので測定できません。 得られたATP発光量は検体中の総生菌の値です。

Q ウェルプレートで測定できますか？

A 発光測定するまでの検体前処理にウェルプレートの使用は不向きです。 シングルチューブをご利用ください。 発光測定には白色（または黒色）ウェルプレートの使用は可能です。 ウェルプレート対応のルミノメーターをご使用の場合、測定ウエルの指定と動作プログラムを事前に確認設定してください。

Q 発光試薬に含まれるルシフェラーゼのオリジンは何でしょうか？ カルタヘナ法に準拠していますでしょうか？

A 北米産ホタル由来のルシフェラーゼを発光酵素として利用しています。 酵素とその製法はカルタヘナ法に準拠しています。

Q 検出限界は？

A 基本操作法では大腸菌レベルで5~cfu/mlです。

Q 濁度や粘性が高い検体も測定できますか？

A ポリマーや油分によるエマルジョン溶液、高粘性や高濁度の工業製品などに適しています。

Q 自主設定した基準値に対する合否判定にも使えますか？

A 特殊な液性にも対応した操作フローで可能です。